

3・11郡山現地へ!

2014年2月17日
No.167

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信



2月7日、阿佐ヶ谷駅前にて

都知事選で鈴木たつおさん大奮闘!

安倍打倒の12684票を獲得!

2014年冒頭、安倍政権と日帝ブルジョアジーを震え上がらせ恐怖のどん底におとし入れる大決戦が圧倒的戦闘的に打ち抜かれました。

1月23日から始まった都知事選に法大弁護団長であり動労千葉顧問弁護団、さらに星野文昭さん再審弁護団長でもある鈴木たつおさんが立候補し、2週間の選挙戦を闘い抜いて12684票を獲得しました。鈴木たつお

さんの訴える「戦争させない」「被曝させない」「貧困・過労死許さない」「だからオリンピックはやらない」「弾圧と闘う」という5つのスローガンは労働者階級とりわけ青年の心を鷲掴みにし、職場で、街頭で、至る所で決起が生まれています。全学連もスタッフとして駆けつけ共に選挙戦を闘い抜きました。

都知事選決戦を突破口に3・11郡山へ!

あきらめられるか 忘れられるか 福島は怒りはおさまらない!

3・11反原発福島行動'14

- 〈日時〉 3月11日(火) 14時~
- 〈場所〉 郡山市総合体育館にて(集会後、デモ行進)
- 〈呼びかけ〉 3・11反原発福島行動実行委員会
- 〈連絡先〉 ◆FAX: 024-575-5124
◆メール: 3.11fukushimaaction@gmail.com



都知事選決戦を闘い抜いたスタッフの感想

●福島大・F

東京で1万3千人（「有権者」以外を含めればそれ以上）の心をつかんだ！ 鈴木たつおさんを都知事にできなかったのはとても残念ですが、ものすごい手応えを感じた都知事選でした。やり抜いてみればあっという間の17日間でした。

私は街宣隊として都内を駆け回り、時にはマイクや宣伝カーのハンドルを握りました。候補者だけでなく、私たちも主体になった運動でした。鈴木さんや全国から駆けつけた労働者、そして学生の熱意こもったアジは都内・全国に響きわたり、革命のうねりを各地につくり出したと確信しています。全学連の団結も深まりました。

特に、福島の怒りとしての「1千万の怒りでアベ倒そう」「全ての原発いまずぐなくそう」「オリンピックやらない」を鈴木候補と一緒に曖昧さなく訴えることができ、さらには東京の労働者から多くの共感を得られたことがうれしかったです。オリンピックは福島切り捨てであると同時に雇用破壊でもあると訴えている時に、人々が足を止めて街宣隊と討論になることが多かったように感じました。みんな現状に怒っているけれども、どこに怒りをぶつけたらいいかわからない。そこに闘う軸が登場し、敵をはっきりさせて怒りを発した時に、みんなの怒りが解き放たれていったようでした。これだから今回の都知事選は楽しかった！

次の主戦場は福島です。細川や宇都宮らの原発反対運動を条件闘争へと分断していく勢力や、労働者階級の決起を恐れて鈴木候補を宣伝しなかったブルジョアマスコミは、福島大の中で怒りの声をあげさせないという福大当局と一緒にいます。都知事選と1・20福大行動（『前進』2618号参照）を打ち抜いた全学連こそが、福島現地でも福島の怒りと結びつき革命情勢をつかもう。

●富山大・N

私は、東京都知事候補の鈴木たつおさんを応援して、約3週間のあいだ街頭宣伝隊として闘ってきました。勝ち取った鈴木たつおさんへの約1万3千票と労働者階級の団結は本当に偉大な前進だと思います。

私が今回の選挙戦で感じたことは、労働者が本当に生き生きと闘えた選挙戦だったということであり、労働者が主人公、労働者・労働運動の力で社会を変えようとストレートな訴えが本当に響いたということです。特に、鈴コン社前で、都知事選挙として鈴木たつおさんが鈴コン労働者と共に解雇撤回を訴え闘う姿は自分にとって新鮮でした。労働者階級の闘いを軸にした選挙闘争ということが本当に実感できた瞬間でした。労働者自身が、自分たちのリーダー、候補として鈴木さんを押し立てることができるし、労働運動として自己解放的に選挙戦を闘いとれるんだなと思いました。街頭宣伝でも、現場で闘ってきた学生や労働者の応援演説は、1票をお願いする訴えではなく、自分たちのキャンパスや職場の闘いから怒りを共有し共に闘う仲間になろうという訴えであり、



青年労働者の多くが立ち止まって話を聞いて行きました。訴えを聞いて感動し、労働組合に入る仲間も現れ、選挙戦でもあるにも関わらず、どんどん運動が前進する感覚がありました。だからこそ、今回の1万3千の票は社会を根本からの変革を求める1万3千の票だったと本当にそう思います。この都知事選挙の偉大な地平から6000万労働者階級の獲得へ！さらに大胆に挑戦しよう！

関西の学生・M

関西の学生です。2月23日のポスター貼りから、最後の2月9日まで選挙の応援に参加しました。

選挙活動は今回がはじめてで、最初はどうかと思いましたが、「戦争させない」・「被曝させない」・「貧困過労死ゆるさない」「だからオリンピックやらない」という4つのスローガンをしっかり伝えると街頭の反応もよく、自信を持って取り組むことが出来ました。特にオリンピックについて話になり、「福島を切り捨てオリンピックをやろうとしている」「労働者が団結して闘えばこんなふざけた攻撃は絶対はねかえせる」と自分達の実践もあわせて提起できたと思います。その上で鈴木たつお候補の闘いを紹介すると、驚いて「入れてみるかどうか検討してみます」という人も多かったです。

応援演説でさまざまな職場の労働者の方が発言し、その発言を聞いて鈴木たつお候補に興味をもった人とも話になりました。

「本当に労働者の力でこの社会は変えられるのか」という思いに対して、労働組合で闘う仲間が毎回の街頭演説に登場し、社前闘争やNHK、JR貨物本社前で実際に資本と対決する姿を見せたこと、東京北部ユニオンが労働相談を街頭演説の場で行ったことなどは、本当に重要だと思いました。「現場から団結して変えられる」実感もてる選挙でとても楽しくもあり、この団結で社会を変えられると確信もてる選挙になりました。この闘いを関西、とりわけ京都大学の闘いに引き継ぎ、自己解放的に闘っていきたく思います。京大当局に全学ストライキを叩き付け、現場で革命を巻き起こし、プロレタリア独裁権力樹立までやりぬく決意です！現場で団結して革命を巻き起こそう！

【当面する行動方針】

●3・7法大処分撤回第5回裁判

3月7日(金) 16時半～ 東京地裁・615号法廷にて ※30分前までに裁判所脇に集まって下さい

